

病棟勤務における 意識変化の調査

～より良い看護が提供できる環境を目指して～

医療法人財団 岩井医療財団 稲波脊椎・関節病院
渡辺真弓 土澤あみん 松木紘子 大田陽子 相川俊子 向山香奈

はじめに ～病院紹介～



一歩先のスタンダードへ

稲波脊椎・関節病院

INANAMI SPINE AND JOINT HOSPITAL

- ◆ 岩井整形外科内科病院より脊椎・関節に特化した分院
- ◆ 2015年7月21日品川区にオープン
- ◆ 全国・海外の患者を対象
- ◆ 病床数60床
- ◆ 内視鏡を中心とした脊椎・関節手術
- ◆ 平均在院日数：8日

オープンしてからの病棟運営

- ◆ 病棟看護師22名のうち本院からの異動者が6名
新規採用16名
- ◆ 経験年数5年以上のスタッフが大半を占める
- ◆ 多くの看護師が立ち上げに希望を抱き臨む反面、
予想以上に苦慮する事も体験



看護師の意欲にも変化があり、結果によっては看護に影響する事も懸念されるのでは

**そこで開院前と開院3ヶ月での看護師の意欲の変化を知る
目的でアンケートを実施**

方法・期間

<方法>

新病院で働く22名のスタッフの意識調査をアンケート用紙にて実施

<期間>

平成27年11月4日～11月13日

- ◆0～10段階のスケールを使用
- ◆入職前・入職直後・開院3ヶ月後と3項目に分類

アンケート用紙

病棟勤務における意識変化の調査

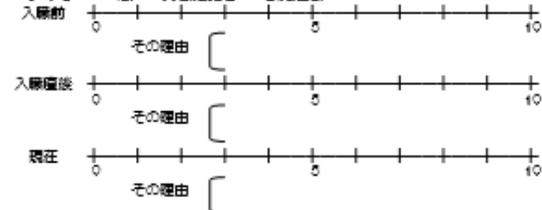
東京部病院学会に発表するにあたり、スタッフの意識調査をさせていただきます。
お忙しい中ではありますがご協力をお願い致します。

目的 入職前・入職直後・現在にかけての病棟に対する意識調査を行い、スタッフが働きやすい病棟運営を考え、紙一した書類を提供し、患者満足度向上に努めます。

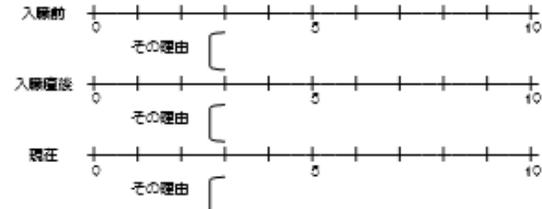
期間 入職時～平成27年10月下旬について。

以下のアンケート内容について、0-10で自分がいざば近いと感じる所に○をつけてください。
MAXが10、全くなしの場合0として回答をお願いします。

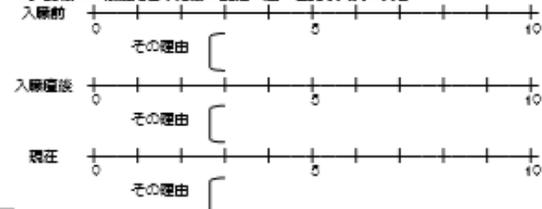
1. やりがいが感じられる病棟という満足感



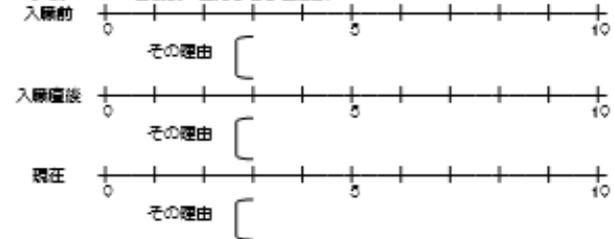
2. 今後のキャリアを生かせるという期待・希望（知識・技術について）



3. 病棟との関係内容や方針の認知・違いを受け入れられる



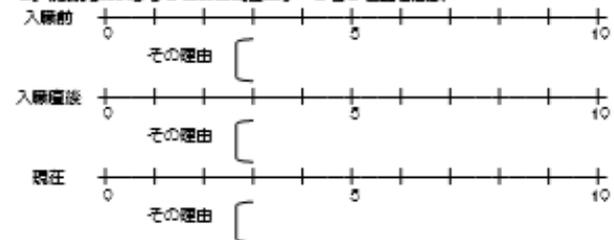
4. 新しいことを吸収・習得する学習意欲



5. 自分から指摘したり、意見を伝える機軸としての満足感



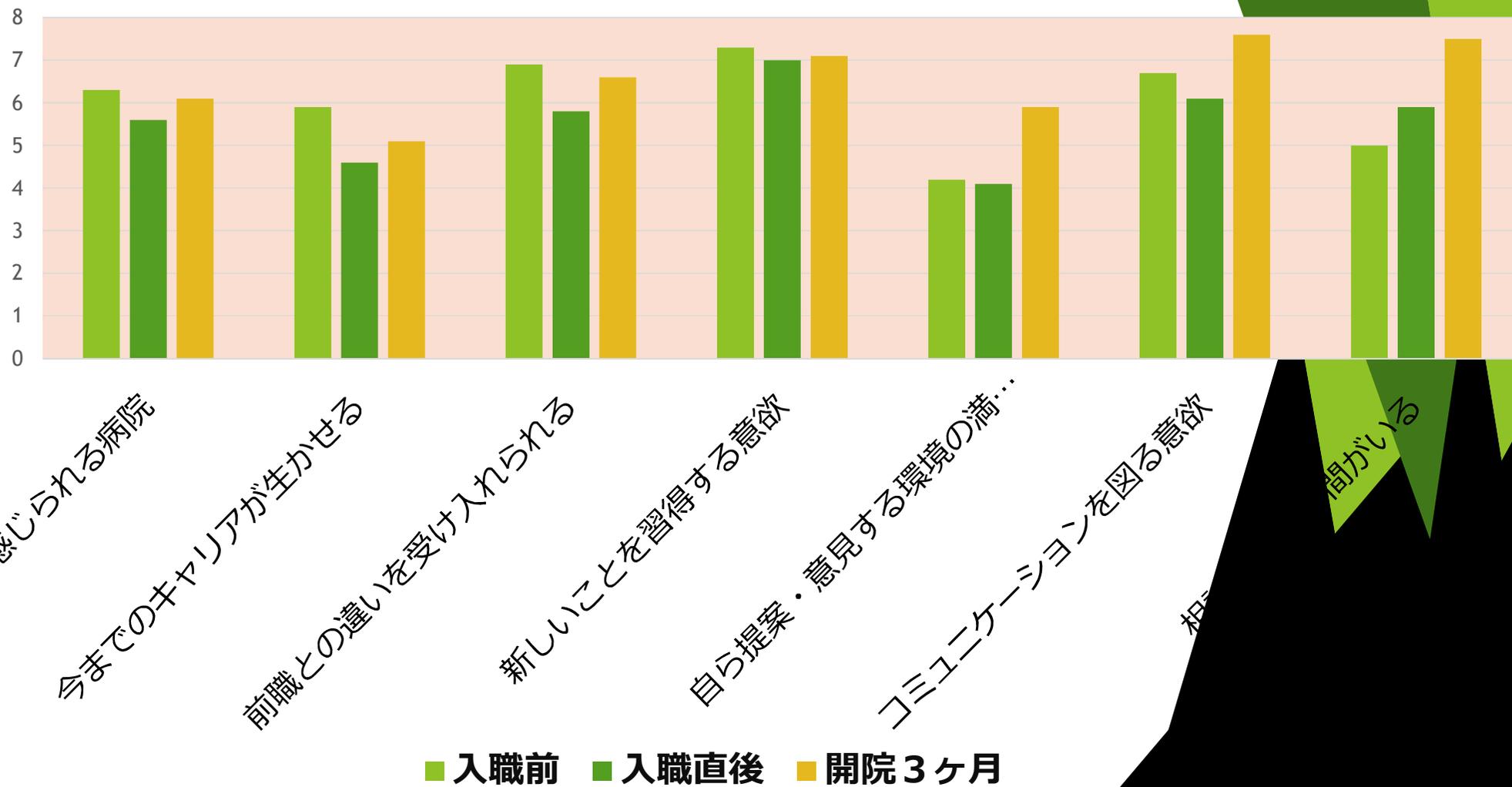
6. 病棟内のスタッフとのコミュニケーションを図る意欲



7. 関係内容や人間関係で不安を感じたときに、相談できる仲間や上司がいるという期待・安心感



アンケート結果



結果・考察

- ◆ コミュニケーションが図れ、相談できる職場環境により大きな意欲の低下はない
- ◆ 今までのキャリアを生かせないという不安は脊椎・関節に特化している看護だからではないか
- ◆ 他では経験できないスキルがあることから、学習意欲の高さは維持されている

まとめ

- ▶ コミュニケーションを図り関係性を築くことがやりがいにつながる
- ▶ 習得する意欲とやりがいの継続のため教育・サポートシステムを具体化することが課題

ご静聴ありがとうございました。

